

文化力による地域活性化の推進について

【担当省庁】文部科学省、文化庁

京都府では、国民文化祭の成果を踏まえ、「京都府文化力による京都活性化推進条例」に基づく新しい基本指針「京都こころの文化・未来創造ビジョン」を策定したところです。文化力で「京都」を活性化し、日本文化の素晴らしさを一層戦略的に発信するため、以下のとおり要望いたします。

1 次世代の育成と地域文化の振興

- 未来の文化の担い手育成のため、地域住民や芸術団体、NPO、文化施設等と協働で取り組むこころの文化次世代事業などを「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」に採択いただきたい。
- 文化庁関西分室と連携して行う、人形浄瑠璃など「文化の道」をテーマにした関西広域連合の取組をはじめ関西・京都からの特色ある事業を「文化遺産を活かした地域活性化事業」に採択いただきたい。

2 古典の日推進事業の展開

- 全国的に11月1日の「古典の日」を普及啓発し、我が国の教育や文化の振興、次世代の育成、日本人の精神的基盤の再構築につながる施策を展開されるとともに、11月1日に京都で開催の「古典の日推進フォーラム」に主催として参画いただきたい。
- 青少年をはじめとする府民が古典に親しむ事業など、古典の日推進を図るための取組を「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」に採択いただきたい。

3 関西・京都を起点とした国際的な文化交流・発信

- 文化庁関西分室を国際的な文化交流の発信拠点と位置付け、機能・体制を強化するとともに、平成 25 年度の「東アジア共生会議」を京都で開催していただきたい。

- 平成 27 年に京都で開催を準備している国際芸術祭は、経済界と連携し、伝統と現代アートの融合で新しい芸術文化の発信を目指しており、プレ・イベント事業について、「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」に採択いただきたい。

4 文化交流拠点の機能と発信力の強化

- 府立文化芸術会館、府民ホール・アルティが行う舞踊・音楽・演劇の創造機能（アルティ芸術劇場、俊英演奏家公演、古典芸能公演など）を拡充する事業を「劇場・音楽堂等活性化事業」（新規）に採択いただきたい。
- 京都文化博物館が行う府内各地域の文化施設等との連携によるイベントやワークショップの開催、外国人向け情報発信や子ども向け学習プログラムの開発など地域と共働した文化活動等を「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」（新規）に採択いただきたい。

<文化庁の概算要求>

◎地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ 26.2 億円

地域の創意に基づく文化芸術創造活動への支援のため、各地域の特色や実状にあわせた総合的な支援を実施

◎文化遺産を活かした地域活性化事業（新規） 33.8 億円

日本各地の「たから」である多様で豊かな文化遺産を活用し、それぞれの地域の特性に即した総合的な支援を推進

◎東アジア文化交流推進プロジェクト事業 1.2 億円

東アジアの文化交流を推進する「東アジア共生会議」の開催及び「東アジア文化都市」（平成 26 年～）オープニングイベント等の実施

【開催経過】 平成 23 年度 東京
平成 24 年度 仙台

◎劇場・音楽堂等活性化事業（新規） 30.0 億円

「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」の成立を踏まえ、劇場等における創造発信、人材養成、教育普及活動等を総合的に支援

◎地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業（新規） 10.1 億円

美術館・歴史博物館を地域の文化拠点として活性化し、地域との共働の下、その有する多面的な可能性を生かした事業を支援

京都府の現状・課題等

1 次世代の育成と地域文化の振興

「地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業」(申請中)【文化庁文化部】

【日本画こころの京都百選巡回展事業】 750 千円

「こころの原点」である京都の風物、祭礼、人々の暮らしなどをテーマに、京都在住又は京都ゆかりの作家 100 名に日本画制作を委嘱
京都府内 2 箇所の美術館等で展覧会を開催

【次世代文化継承事業】 7,000 千円

児童・生徒に、ほんまもんの文化・芸術を体感する機会の提供により、京都の文化・芸術の振興と次世代への継承を図るため、小中高校や地域へ芸術家を派遣

【伝統文化の甲子園 (全国高校生伝統文化フェスティバル)】 16,800 千円

郷土芸能や吟詠剣詩舞など伝統文化に勤しむ全国
トップレベルの高校生と府内高校生が切磋琢磨する
活動・発表ステージを開催



【お茶といけばなの祭典】 6,500 千円

府民誰もが自由に参加できるお茶会や高校生などのアマチュアによるいけばなの展示や華道家によるデモンストレーション・体験教室などを実施

【ほんまもんの京の文化の担い手を育む事業】 8,650 千円

○美術工芸新鋭展

新進作家の育成を図り、卓抜した創造性・技術を備えた作品を紹介して、京都の文化芸術を振興する展覧会を開催

○現代写真作家展

京都を中心に活動する写真家の作品を展示公開。次世代育成のため府内高校生作品展を併設

○野外彫刻展

京都府立植物園において、京都を代表する彫刻家と次代を担う若手作家の作品展を開催

◆ 関西「文化の道」事業 10,000 千円 事務局：京都府

<平成 25 年度>

人形浄瑠璃フェスティバルの開催等

(文化遺産を活かした地域活性化事業補助金申請)

2 古典の日推進事業の展開

<「古典の日」の法制化記念事業：古典の日推進委員会>

- ・ 平成 24 年 11 月 1 日(木)
古典の日推進フォーラムin京都
於：国立京都国際会館（左京区）
参加者数：2,000 人
- ・ 平成 24 年 12 月 4 日(火)
古典の日推進フォーラムin東京
於：国立能楽堂（東京都渋谷区）
参加者数：800 人



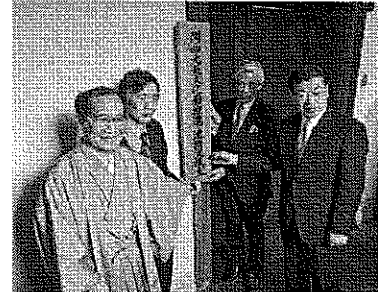
<京都ゆかりの古典教材作成事業>

子どもたちに朗読・暗唱してほしい京都ゆかりの古典文学を教材として作成し、小中学校の授業や朝読書等で活用

3 関西・京都を起点とした国際的な文化交流発信

◆ 文化庁関西元気文化圏推進・連携支援室(通称：関西分室)の移転・開所

- 設置時期：平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月
- 設置場所：京都府庁旧本館 2 階
(当初は平成 19 年 1 月に国立京都博物館内に設置)
- 体制：室長、副室長（非常勤）
- 業務内容：
 - ・ 関西元気文化圏への参加登録等に関する相談対応、登録事業への出席
 - ・ 関係団体・自治体等との連絡調整
 - ・ マスコミとの連絡 等



◆ 平成 25 年度の「東アジア共生会議」を京都で開催

◆ オール京都による国際芸術祭の開催

- 趣 旨 新たな芸術文化の発信と新たな都市の魅力創造を目指した日本を代表する国際的な芸術祭の開催
- 実施体制 京都府、京都市、経済界によるオール京都体制
- 開催時期 平成 27 年 2 月～5 月（予定）
- ◎プレ事業 平成 25 年度…京都文化博物館でのウィリアム・ケントリッジ展開催
普及・広報のためのレクチャーシリーズ開催等

4 文化交流拠点の機能と発信力の強化

美術館・博物館・音楽ホール等文化施設を地域の文化交流拠点として活性化し、新たな文化創造拠点とする。

「劇場音楽堂等活性化事業」

○府民ホールアルティ

「ALTI芸術劇場」

上質の演奏と舞台をセレクトし、プレトークや終了後の出演者との交流の場を提供

○京都府立文化芸術会館

「古典芸能公演」

狂言や落語などの古典芸能を分かりやすい解説や観客との交流を交えて実施

「地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業」

○京都文化博物館

「ぶんぱく子どもワークショップ」

子ども向けのワークショップでして拓本教室やおひな祭りの工作などを実施



【京都府の担当部局】

| | | |
|-------|---------|--------------|
| 文化環境部 | 文化政策課 | 075-414-4217 |
| | 文化芸術振興課 | 075-414-4219 |